

EMS



上席執行役員
EMS事業部長
西村 浩

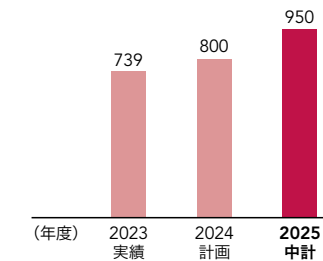
事業部長メッセージ

設計から製造、エンジニアリングまでをワンストップで提供する「モノづくり総合サービス」で、安心・安全な社会の実現に貢献します。

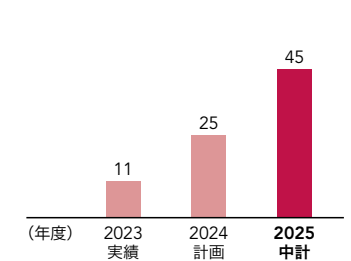
これまで、OKIが得意とする「変種変量※」や「故障が許されない品質」のモノづくりを、産業インフラ、情報通信、医療、航空宇宙などの領域に注力し、事業を拡大してきました。今後は、事業ポートフォリオの多角化による事業基盤の強化と、部品事業を中心とした成長事業への積極投資を進めながら、EMSグループの連携した商品・サービスの提供により、さらなる事業拡大を目指します。

※モノづくりにおける「変種変量」生産：市場ニーズにより、その都度変化する多彩な生産品目や生産物量に合わせて、柔軟に対応する生産体制

売上高（億円）



営業利益（億円）



事業概要

変種変量、高品質、高付加価値のモノづくりをワンストップでお客へ提供しています。主に「EMS・DMS事業」「部品事業」「エンジニアリング事業」で構成され、長年のOKIの生産で培ってきた技術・ノウハウを付加価値とするモノづくりの上流から下流までのあらゆるプロセスを、EMSグループ連携により、幅広く提供します。



事業方針

お客様の困りごとを生産面で支える製造プラットフォーマーを目指します。OKIのモノづくりを通じて商品化を実現する中で蓄積された「ノウハウの詰まった設計・製造のプロセス」や、「部品・モジュールとして共通化したプロダクト」を、プラットフォーム化された商品・サービスとしてお客様へ提供することで、お客様の社会課題解決に貢献していきます。



事業環境の認識

事業環境の認識	
機会	・カンントリーリスク拡大による国内生産回帰 ・人手不足による国内EMS活用拡大 ・市場動向の変化（半導体市況回復など）に伴う顧客需要増加
脅威	・中国市況の不透明感による関連する顧客需要停滞 ・為替変動や人件費アップなどによる材料費の高騰

事業の強み、課題

事業の強み、課題	
強み	・高信頼性が求められる医療機器や航空宇宙、産業インフラ分野に高品質な商品・サービスを提供 ・EMSグループが保有する高度な技術を組合せ、ワンストップで幅広く提供
課題への対応	・人材不足による生産能力不足 ・コスト競争力不足

EMS

EMS事業は、中期経営計画2025での重点施策であるEMSからDMSへのビジネスモデルシフトや、収益力の高いベース事業への成長投資などに取り組み、2026年度までに売上高1,000億円の事業体を実現します。また、EMSグループの強みである「高度なモノづくり力」を組み合わせ、新商品・新サービスの提供による新規案件・新規顧客の獲得を加速し、2031年度までのさらなる事業成長を目指します。

中期経営計画2025（成長への舵切り1st Stage）

3つの重点施策と進捗状況

① EMSからDMSへのビジネスモデルシフト

施策：DMS売上比率を拡大、規模が大きく付加価値が高い案件の新規獲得を目指す
進捗：DMS売上比率は前年比5%拡大。小規模案件が多く、効率化が課題

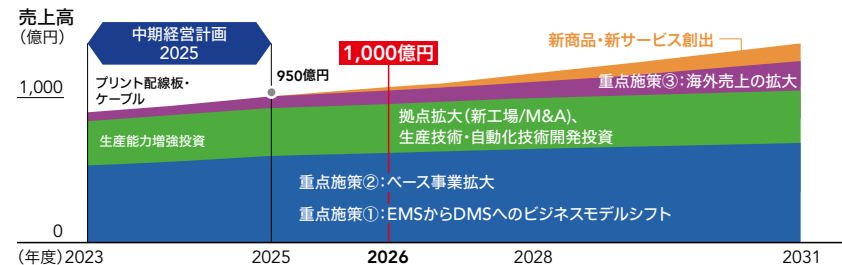
② ベース事業拡大（部品・エンジニアリング事業）

施策：半導体や工作機械・FAロボット市場成長に追隨する生産能力拡大に向けた積極投資。
進捗：成長投資は計画どおりに進捗しているが、部品事業は市況影響により売上減少。事業ポートフォリオの多角化を目指す

③ 海外売上の拡大

施策：部品事業は、優良顧客との共創関係強化。EMS・DMS事業では、Out-Outビジネス*にチャレンジ
進捗：部品事業では売上伸び悩み。案件引合いは増えており、OKIグループ販売チャネルの活用による拡販を推進

※Out-Outビジネス：お客様の海外向け製品をOKIの海外拠点で製造受託するサービス



2031年の目指す姿（成長への舵切り2nd Stage以降）

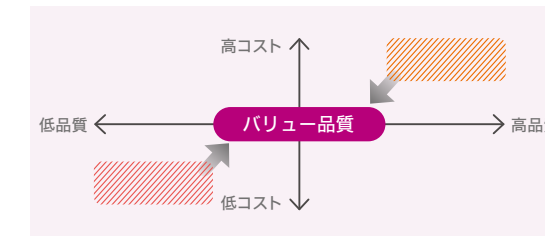
「モノづくり総合サービス」事業を拡張

- ベース事業への成長投資の継続
- EMSグループ連携での新商品・新サービス創出/拡大（海外拡販など）

お客様との共創でプラットフォーム・ビジネスを拡大

- プロセス・プラットフォーム

モノづくりのノウハウが詰まった**プロセスを組み合わせ、お客様へ提供**



- プロダクト・プラットフォーム

共通化した商品の提供により、お客様のモノづくりを効率化



OKI	製品ノコア機能（共通部）プラットフォーム化
	×
お客様	製品コア機能（差別化）独自開発

TOPICS 価値創造マテリアリティ | 安心・便利な社会インフラ／働きがいと生産性向上

高齢化が加速する中、医療業界全体での労働力不足は深刻化しています。このような社会課題に対し、EMS事業では、DMS受託案件となるメカトロ医療機器において、省人化を目的とした自動化を実現し、お客様の課題解決に貢献していきます。

具体的には、OKIがATM開発で長年培ってきた装置内搬送技術や画像認識技術、プリンターでのラベル印刷技術などをプラットフォーム化し、これまでの機器では実現できなかった高度な選別方法を可

能とします。医療器具の事前準備や器具の識別・判定、器具媒体の搬送などを自動化することで、効率化だけでなく、医療ヒューマンエラーの課題も解決していきます。

なお、現在開発中である次機種装置の受託生産においては、2026年度からの量産化を開始します。

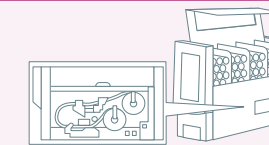
高付加価値商品のお客様との共創〈メカトロ医療機器〉

OKI得意技術（センシング、搬送）

×

お客様のコア技術（固有機能）

「新たな価値創造」を提案



センシング、搬送



航空宇宙（制御）機器



半導体検査装置



自立型自動搬送（AMR）